

北高 進路だより Vol.8 (通算 vol.66)

進路指導キーワード

自立

R5.2.10

下関北高校進路指導課発行

1 進路とボランティア

JRC部顧問 池岡 美代子

本校のボランティアについて

地域連携を重視する本校は、授業や部活動、有志生徒によるボランティア活動に年間を通じて取り組んでいます。活動には大きく分けて2種類があります。



①「人」とのコミュニケーションを主とするもの

- ・ 町内福祉施設（白滝荘・こども園等）での入居者の方々や園児とのふれあい
- ・ 地域のイベントのサポート
（夏祭りの接客やふれあい、マラソン・自転車レース大会の給水・補食補助、募金活動、献血の呼びかけ 他）
- ・ ハロウィンかぼちゃランタン制作指導（右画像）
- ・ 小、中学生への学習支援



②「物」への対応を主とするもの（作業的内容）

- ・ 梨選果場での梨の選果、運搬
- ・ 福祉施設の送迎バスおよび施設内の清掃

なぜ、ボランティアは進路を考える上で意義があるのか

最大の意義は、「コミュニケーション能力を大いに高め人間としての幅を広げられる」点です。なぜなら、様々な年代層・客層（乳幼児、小中学生、一般、高齢者など）に自ら関わっていく姿勢が求められるからです。相手に都合を伺う、体調を気遣う、敬語を使う、笑顔で接するなど常に周囲の状況を見て、多くの配慮をしながら、そして自分の立ち位置を考えながら動くことが必要になります。これらは将来進む道のどこかで必ず役立てられるはずで

実体験は最大の「武器」になる

ボランティアに取り組むことは、「学校」という狭い枠組みから広い「社会」へ出

ることになり、普段とは大いに異なる貴重な体験を得られるものです。進路を実現させるため、受験時の自己PRの武器にもなるでしょう。今後のボランティアは随時案内しますので、参加経験のない人は思い切って参加してみてください。春休みや夏休みなど長期休業中には募集が増えます。



24時間テレビ 募金



アクティブ・チャイルド・プログラム



ワールド・しものせき



豊北キッチン(こども食堂)



豊北キッチン運動会



献血呼びかけ

2 1・2年生へ「受験体験報告会」開催します

開催日時は2月14日(火)第2・3限で、目的は1・2年生の進路選択、受験に向けての情報収集です。内容は、進路が内定している3年生の代表者に、後輩に対して受験経緯や準備に関する様々なことから(志望理由、努力したこと、苦労話、リラックス方法、アドバイス等)を報告してもらうというものです。方法は、昨年度から分科会形式にしており、体育館内で全体を多くの小グループに分け、なるべく自分の興味のある分野の話聞き先輩と多くやりとりすることを目指します。

協力してくれる3年生は諸君の為に時間を割いてくれるわけですし、1・2年生が3年生と直接関われる最後の機会と言ってもよい貴重な時間になります。何か自分に生かせる情報はないか、本校の先輩ならではの助言はないか、などと洞察する姿勢を準備して臨んでください。



昨年度実施風景より

